

リリースノート—Ki Pro Mini v4.2

Firmware update for Ki Pro Mini

全般

このバージョンは、Ki Pro Miniに最新機能といくつかの改善を提供します。機能や設定についてはクイックスタートガイドとインストレーション&オペレーションユーザーガイドを参照してください。最新のドキュメントはwww.aja.com（英語）の「Support」セクションからを見つけることができます。

新機能

- ・ ユーザー認証のパラメータが追加されました。Web UIを使用している場合、このパラメータは、ログイン認証を有効または無効にすることができます。有効にした場合、Webブラウザはパラメータや設定画面の前にパスワードの入力を要求するログイン画面を表示します。この機能によりネットワーク環境でのKi Proに最低限のセキュリティ保護を提供します。
- ・ インターバルレコードの状態をステータスページに追加しました。インターバルレコードが有効になっている場合は、ステータスページにインターバルレコードステータスが表示されます。

修正点

- ・ Web UIのタイムコードとフロントパネルのタイムコードが一致しない問題を解決しました。
- ・ ビデオ入力信号が規格外の場合、DNxHDのレコーディングが停止につながる可能性がある問題を解決しました。
- ・ Web UIのDATA-LAN機能でファイルをアップロードすると、まれに誤ったエラーメッセージが報告されてしまう問題を解決しました。
- ・ 初回の起動時にデフォルトでApple ProRes 422で記録が出来る様に修正しました。

使用上の注意点

- ・ファームウェアのアップデートを行う前に、CONFIGメニューで工場出荷状態にリセットすることをお勧めします。
- ・ファームウェアのアップデートを行った場合、WebブラウザとKi Proとの接続は解除されます。再接続を行うには、ウェブブラウザのページをリロードしてください。
- ・Ki Proで収録したクリップをFinal Cut Proに読み込んだ場合、「最適化されていない」旨のダイアログが表示される場合がありますが、これらのクリップは問題なくFinal Cut Proで使用できます。
- ・Ki Proで収録中にファームウェアのアップデートを行わないでください。アップデートを実行する前にはKi Proが停止状態にあることを確認してください。